

東信

長上佐

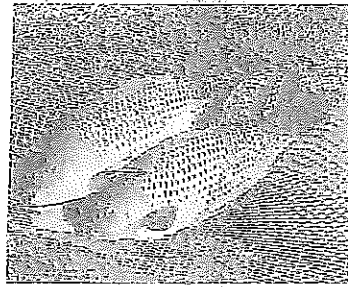
前巻(冊)二

▽I
▽G
▽i
▽ネ
▽△
▽C
▽T
▽K
▽テ
▽ケ
▽C
▽高
▽一
▽E
12月

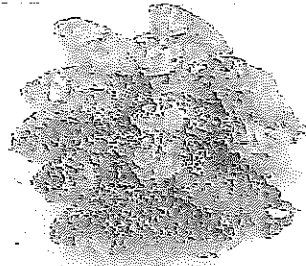
佐久鯉・小ブナ 文化財に

養殖・食文化 市教委が指定の方向

佐久市教育委員会が、同市名産の「佐久鯉」と小ブナの養殖技術や食文化を、市指定無形民俗文化財にする方向で検討していることが31日、分かった。2019年度中に市文化財保護審議会に諮問し、答申を受けて指定する方向だ。ともに「コメどころ」の佐久で水田を使って生産が活発になったが、昔に比べて生産者は減少。指定を機に文化的な価値を市内外に広くアピールする考えだ。



佐久市内で養殖された佐久鯉



佐久の秋の味覚として親しまれる小ブナの甘露煮

市などによると佐久鯉の養殖は江戸時代、呉服商が大阪・淀川産のコイを持ち帰ったのが始まりとする説がある。コイが雑草や害虫を食べることもあって水田での養殖が広がった。昭和に入ってから佐久鯉の名前が定着し、養殖池整備も進んだ。鯉こくやうま煮、湯に通して冷水で締める「あらい」などで親しまれる。小ブナは1970年代から養殖が盛んになったとされ、

コメの生産調整(減反)政策を受けた転作の一環でもあったという。秋に甘露煮として地元で食卓を彩り、生産が追いつかないほど需要がある。ただ、生産者が高齢化するなどし、市内での2017年の佐久鯉の出荷量は10年前より3割余少ない22ト、小ブナも3割近く少ない14トだ。湖沢晴樹教育長は、文化財指定を通じ「郷土が大事にしていた食文化の継承につなげた」としている。

市の無形民俗文化財は6件あるが、いずれも道祖神祭りや踊り念仏などと民俗芸能や信仰の分野。佐久鯉と小ブナの養殖技術などが指定されれば、食の分野では初となる。

五輪銅の荒井選手にあやかり町が構想

2016年リオデジャネイロ五輪の男子50キロ競歩で銅メダルを獲得した小布施町出身の荒井広宙選手(30)は、自衛隊員にあやかり、町が町内で競歩コースの選定を構想している。長野県鉄小布施駅や古瀬、岩原院町

スを



荒井広宙選手

町が検討しているコースは

50キロが3本。県内にはない。県選手権では競技場内を周回して5千メートルの種目は開けるが、20キロや50キロは時間がかかったり、屋外にコースが取れなかつたりして開いていない。日本陸上競技連盟の競技規則では、競歩は周回コースで

▽歯科 (9~12時)

- 夏目
(中野市小田中) 24-5100
飯山市・下水内 62-4195
飯山赤十字(飯山)
千曲市・坂城町 (市外局番026)
(9~17時)
岡田外科(蒲高山) 272-2828
窪沢眼科(屋代) 272-0031
とも泌尿器科(磯部) 261-5815
▽歯科(9~12時)
関(栗佐) 285-0418
上田市 (市外局番0268)
(9~18時)
▽内科
上田(中央1) 22-3580
豊沢(芳田) 35-3330
堀(中之条) 23-5566
▽外科
上田(中央1) 22-3580
かながわ(倉久保) 34-5151
川西生協(佐吉田) 21-1417

3日

- 長野市 (市外局番026)
▽内・小児科(9~18時)
小林(桜枝町) 232-3632
花岡内科(吉田5) 243-7780
金木内科(安茂里) 226-3553
長野赤十字(小児科)(若里5) 226-4131
緊急時医療案内(時間外) 0570-088-199
▽外科(9~18時)
小林脳(三輪1) 241-6221
西和田林(西和田1) 263-0884
緊急時医療案内(時間外) 0570-088-199
▽歯科(9~12時)
小林(吉田3) 241-2207
小林(西尾張部) 263-6480
▽松代(9~18時)
長野松代協会

千曲市・坂城町 (市外局番026)

- (9~17時)
飯島(中) 272-0269
島田(小島) 273-8788
森本眼科(内川) 285-0020
▽歯科(9~12時)
あんず(須坂) 214-6654
上田市 (市外局番0268)
(9~18時)
▽内科
佐藤(中央1) 22-2342
山田(下之郷) 26-8181
▽外科
小林(常田3) 22-6885
甲田医院(中央1) 22-0859
飯田整形(上田原) 28-1211
▽眼科
下田(常田1) 21-0606
▽産婦人科
市立産婦人科(緑が丘) 22-1573

1日

- ▽長野市
▽長野若里
一若里6
▽吉田南セン
二吉田5
▽なかもやま一
さくら長野高田店
一高田
ケア西和田店
二西和田
一松代
▽南長野地区
▽リノ
波島
二丹波島2
▽ニシノ
波島2
▽ビヨンド西友
稲里町中央4
▽マツモ
南長野運動公園店
一杵
▽夏道地区
▽栗佐
一戸倉
一上山田
一坂城
▽内川土屋
一内川
▽日里
城
▽須高地区
▽さくら
市須高7
三上
一小布施

野沢南高生 和食で頂点

高校生全国大会でグランプリ



グランプリを受賞した料理と萩原さん(左)、桜井さん(右)と、金沢市

井や唐揚げ・たたき…佐久鯉づくし工夫実る

金沢市で7日開かれた和食の腕前を競う「全日本高校生WASHOKUGランプリ」で、野沢南高校(佐久市)の萩原彩音さん(17)と桜井真優さん(18)とともに3年IIが、最高賞となるグランプリを獲得した。佐久地方の名産「佐久鯉」を使ったお膳が「盛り付けや彩りなど総合力が高く、何よりおいしい」(審査委員長)と評価された。

大会は金沢市などが初開いた「佐久鯉」を使った。アシ催。全国36校102チームから書類審査を通過した8チームが決勝に出場した。市内のたつきは「地味にならないレストランでそれぞれ地元食材を使った和食を調理。料理人ら5人が、料理のこだわりを伝えるプレゼンテーション内容のほか、試食した料理の「五感の満足度」など6項目を評価した。

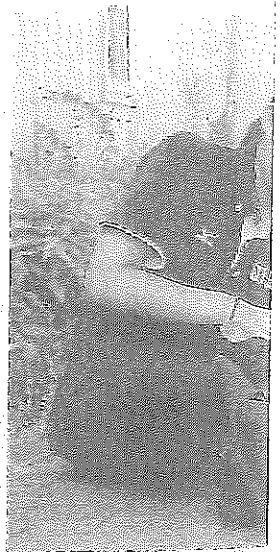
「佐久鯉人倶楽部」として出場した2人が作ったのは漬け井や唐揚げ、みそ汁など5品の「長寿の里信濃の鯉づくし御膳」。鯉を熟成させて臭みを消し、うま味を増やしてあげたい」と話していた。

を支え続けている。
【15面参照】
島崎さんは、入学前から飯山高校のグラウンド近くに住む祖母の家に遊びに行くたびに聞くカキーンという打球音が忘れられずマネージャー

飯山選手と

手たちが手伝っていても少なくなかったという。
練習試合では試合のアナウンスも記録などに追われながら、打席に入った選手の映像をスマートフォンで撮影。部長の石渡雄規さん(18)は「毎

ちの心遣いが何よりうれしい」。大阪入り後も2人は道具の手入れなどを黙々と続けている。(福島 愛美) 用具の手入れに余念がない 島崎さん(左)と鈴木さん

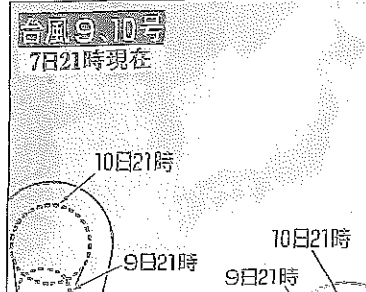


飯山署は7日、住居侵入と器物損壊の疑いで、下高井郡野沢温泉村議、富井走一容疑者(67)と川村豊郷IIを逮捕した。
逮捕容疑は、2016年9月21日午後4時ごろから同22日午前10時ごろまでに、村内の住宅の物置に侵入し、タイヤ4本を焼いた疑い。同署は認可を明らかにしていない。同署によると、現場周辺に設

物置侵入



富井走一 容疑者



大型の台風9号 石垣島に接近へ
大型で強い台風9号は7日、沖縄・石垣島の南東の海

「食の文化財」について

1 ユネスコ無形文化遺産

平成25年12月4日に「和食；日本人の伝統的な食文化」が登録される。

2 長野県選択無形民俗文化財

昭和56年10月に「味の文化財」指定について長野県文化財保護審議会で審議するも、「文化財に相応しいかどうか」「前例がない」等の質問及び意見が多数あり、審議未了で審議会としては結論が出せなかった。

その後さらに議論の末、昭和58年に他県に前例のない「食の文化財」を県選択無形民俗文化財「味の文化財」として選択する。

「味の文化財」選択以後は、「味の文化財」との名称は使用せず、地名を付けて選択している。

(1) 昭和58年7月13日選択

ア 味の文化財

- (ア) 手打ちソバ
- (イ) 焼き餅
- (ウ) 御幣餅
- (エ) スンキ漬
- (オ) 野沢菜漬

(2) 平成12年3月15日選択

- ア 飯田市伊豆木の鯖鮓
- イ 飯山市富倉の笹寿司
- ウ 王滝村の万年鮓
- エ 南信州の柚餅子

(3) 平成13年3月15日選択

- ア 木曾の朴葉巻・下伊那南部の朴葉餅
- イ 早蕎麦

※「早蕎麦」は、地名無し

(4) 平成14年3月15日選択

- ア 遠山郷の二度芋の味噌田楽

3 市町村選択無形民俗文化財

(1) 飯山市

ア 平成19年11月20日選択

- (ア) いもなます
- (イ) えご
- (ウ) 富倉そば
- (エ) 富倉の笹ずし

文化財の種類

文化財

有形文化財

【建築物】
【絵画・文書】
絵画・彫刻・工芸品・
文書・典籍・古文書・
考古資料・歴史資料等

無形文化財

【演劇・音楽・工芸技術等】

民俗文化財

【有形の民俗文化財】
有形の民俗文化財に
用いられる衣服・
器具・玩具等

【無形の民俗文化財】
衣食住・行事・信仰・
年中行事等に関する
風俗習慣・民俗芸能・
民俗技術

指定

重要なもの

国重要文化財

県立

市町村有形文化財

保存と活用が特に必要なもの

国指定有形文化財

指定

重要なもの

国重要無形文化財

市町村無形文化財

特に必要のあるもの

記録作成等の措置を
講ずべき無形文化財

指定

特に重要なもの

国重要有形民俗文化財

市町村有形民俗文化財

特に重要なもの

国重要無形民俗文化財

市町村無形民俗文化財

保存と活用が特に必要なもの

国指定有形民俗文化財

指定

特に必要のあるもの

記録作成等の措置を
講ずべき有形民俗文化財

指定

特に価値の高いもの

指定

国宝

佐久鯉を改良した

うすだたんにもん

白田丹右衛門

(1776~1857年)

海から遠い佐久では、鯉は生きたまま料理できる食べ物として大事にされてきた。その鯉と淀川から運んだ鯉を交配させて、おいしく栄養のある鯉を育てた、佐久の人々の努力と工夫のあと。

く度か京都方面を訪ねているうちに、淀川に泳ぐ大きな鯉と出会うことになる。

●淀鯉を佐久へ運ぶ

千曲川には古くから鯉が泳ぎ、秋には鯉がのぼってきていた。しかし千曲川は流れが速いので、鯉は太っていないかった。それに比べて淀川の鯉は、肉が厚くておいしく、丹右衛門をおどろかせた。

彼は「淀鯉を佐久まで運んで増やし、佐久の人々に食べさせたい」と考えるようになった。

屋敷の中に数十坪（一坪は約三・三平方尺）の池を掘って準備をしたが、生きたまま佐久までどのように運んだらいいのかおぼろしくなかった。

七代目の白田元則家には、天保の頃（一八三〇〜一八四三）から明治のはじめまでの「鯉大宝恵帳」、「鯉仕入並売払覚」などの古文書が残されている。しかし、鯉をどのように運んできたかについては、書かれていない。そこで江戸時代における中山道の様子から鯉の運び方を考えよう。

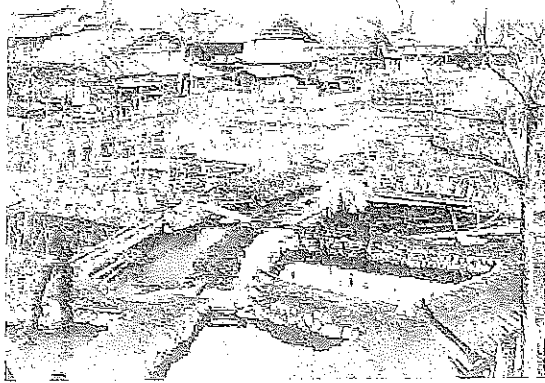
「佐久鯉発祥の地」の石碑には、「数尾の親鯉を持ち来りて」と書かれていることから、鯉は大きな桶に水と鯉を入れてふたをし、縄でしばって棒を通して、二人でかついだのであろう。峠の坂道では馬につけて運んだと考えられる。鯉が死なないように、途中で水を入れなければならなかった。京都から佐久まで、約

九〇里（約三六〇キロメートル）の宿賃や人足賃を合わせると、たいへんなお金がかかった。

（弘化元年頃の人足賃から計算すると五〇〇〇文くらい）

●池で鯉を飼う

丹右衛門は運んできた淀鯉を池にはなし、「源助びるも」（ヒルムシロと呼ばれる水草）の中に卵を生ませて、鯉の子を育てた。しかし、千曲川や片貝川の水がためたかったためか、「鯉の育ち方はあまり良くなかった」という話が伝えられている。



かつては鯉の飼育や越冬に使う池を各戸でもっていた。

さいわいなことに、桜井には多くの泉がわき出でて、真冬でも一三度と暖かかったので、鯉は冬を越して二年〜三年で大きく育ち、食べごろとなった。

「鯉大宝恵帳」には「さなぎ一俵・二俵」という書きこみが見られ、鯉の餌としてさなぎが使われていたことがわかる。繭から糸をとったあとに残るさなぎを

●生いたちと等び

白田丹右衛門光貞は、一七七六（安永五）年に下桜井村（現佐久市桜井）の源五右衛門の子として生まれ、幼名は銀治郎と呼ばれていた。白田家は村の名主をつとめ、下県知行所（代官役所）にも勤めたこともあった。丹右衛門は父から剣道を習い、さらに一信流の居合（片膝を立てて素早く刀を抜き払って、敵を斬りたおす術）の免状を受けたほどであった。その後、和歌を学ぶために京都の歌人を訪ねていたが、その時すばらしい異服を見て、信州へ運んだ。い

食べた鯉は、脂肪分が多くて、おいしい味をつくり出した。鯉は何でも食べるので、さなぎのほかにもすま(小麦の皮)やいもなども与えると大きく育った。鯉を大きく育てた丹右衛門は、一八五七(安政4)年十二月十日に八二歳で亡くなった。

●鯉を育てた佐久の人々

丹右衛門のほかにも佐久の鯉を育て、おいしい料理をつくり上げた人々がいた。文政(一八一八)の頃、岩村田藩の御用達をつとめていた野沢の並木七右衛門は、殿様が大坂城加番をしていた時、「珍魚」(淀鯉か)を賜って佐久へ持ち帰った。

跡部の茂原猪六の日記によると、一八四二(天保13)年に田に飼った鯉取りをし、一八四四(天保15)年八月十三日には「鯉六七枚」と書いている。

鯉がすばらしい食べ物であることを知った佐久の人

々は、池ばかりでなく広い田んぼに鯉を放して、鯉をたくさん飼った。猪六日記にはその頃の料理として、鯉吸物(鯉こく)・皮千切・さしみ(あらい)・すくみ・甘煮・ぬたなどの名前が書かれ、佐久の人々によって、いろいろな食べ方がつくりだされていた。

海から遠い佐久地方では、海の魚といえば馬によって運ばれてきた「ひもの」や「塩づけ」が多く、生のまま料理できる鯉は、おいしいので家で飼う人が増えた。湧水や用水の近くの家では池を掘って鯉を泳がせ必要な時に食べられるようにした。といっても鯉の数は少なかつたので、婚礼や葬式など特別な時のごちそうに使われた。そのうえ、鯉の生血やキモ(たんのう)は薬となることもわかってきて、病気になる人か鯉を食べると元気になり、お産の後、乳が出ないお母さんが食べると乳が出るようになった。

明治末から大正にかけて、製糸場から出るさなぎで、桜井村ばかりでなく、野沢などを中心に水田養鯉がさかんになった。さらに佐久鉄道の開通によって鯉が東京に運ばれると、「おいしい佐久鯉」として全国的に有名になった。

交通が発達し、世界の魚が食べられるようになったが、鯉料理は多くの料理店や旅館で、佐久を代表する料理として親



稲田養鯉の図(佐久市教育委員会蔵)

しまれている。

白田家七代目の元則氏と同志たちは、桜井の民家を使って、佐久鯉料理「丹右衛門」を開き、長い間佐久の人々が育ててきた家庭の味を受けつぎ、地元の人々や観光に訪れた方々に、佐久鯉を味わってもらいたいと願っている。

(小林収)

参考文献

- 『佐久鯉の歴史』淡水魚研究会
- 『佐久鯉特集』『佐久』佐久史学会
- 『白田元則家文書』
- 『笹沢家文書』



平拾いと呼ばれる鯉のとりあげ(上)
宮内省買い上げとなり出荷される佐久鯉(下)

平成30年9月1日
小ブナセミナー

佐久市における小ブナの水田養殖

～その歴史と飼育技術～

長野県水産試験場佐久支場
熊川 真二

1. フナ養殖の歴史

2. 飼育のあらまし

1 フナ養殖の歴史

2 飼育のあらまし

1 歴史

現在の水田フナ養殖

- 佐久地域で年間約20 tを生産(農家数約120人)
- 昭和50年(1975年)代から「水田転作」品目として
- 食用品種「改良ブナ」
- 生産物の規格は「小ブナ」
全長4~7 cm (体重5~7g)
- 流通の主体は活魚、一部は加工品

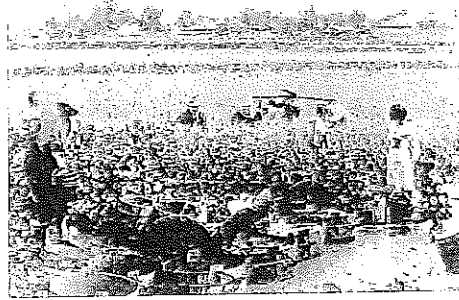


昔は...

1 歴史

水田養魚は昔はコイだった

- 佐久鯉は江戸時代(18世紀末)から
- 水田でコイを育てていた(19世紀～)



でも・・・

1 歴史

水田での鯉養殖の衰退

- 昭和29年(1954) 農薬使用量が急増・
急激に衰退
- 昭和40年(1965) 統計から項目がなくな
る
- コイはため池で飼育されるようになる

では、フナは・・・

1 歴史

改良フナ開発の経緯

元場長のT氏の記憶によると・・・

- 佐久の水田養鯉衰退
- 観賞用ヒブナ養殖を試みる
- 昭和37年(1962)フナ(含むヒブナ)養成試験
- ヒブナの中から、黒くて太い体型のフナが出現
- 腹が大きい(内臓が多い)のが味がよいと考え選抜育種した



改良フナの誕生

普及

1 歴史

改良フナの普及

- 昭和53年(1978)、水田転作作物としてとりあげられる
- 販売用としてフナ養殖が定着⇒現在に至る
- およそ40年の歴史

水田コイ養殖の文化・技術を
引き継いだのがフナ養殖！

1 フナ養殖の歴史

2 飼育のあらまし

スケジュール

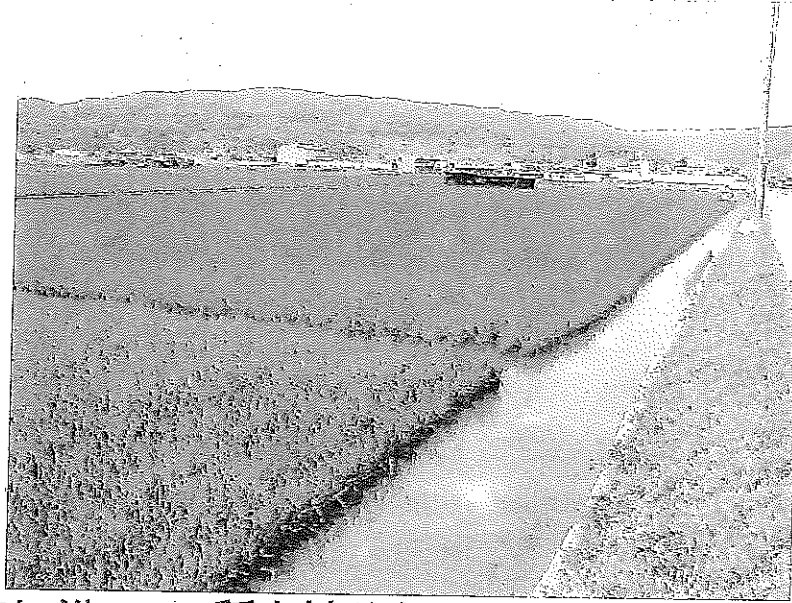
2 あらまし

水田フナ養殖のスケジュール

| | 時期 | 作業 |
|------|-------|-------------------------|
| 5月 | 上旬 | 施肥(鶏糞散布) |
| | 中旬～下旬 | 代掻き・田植え (動物プランクトン発生) |
| 6月 | 上旬 | 親魚放流・産卵 |
| | 上旬～中旬 | ふ化 |
| 7～8月 | 中旬 | 給餌開始 |
| | | 飼育管理 (給餌・給水・鳥獣対策) |
| 9月 | 上旬 | 収穫 |

水田の種類①

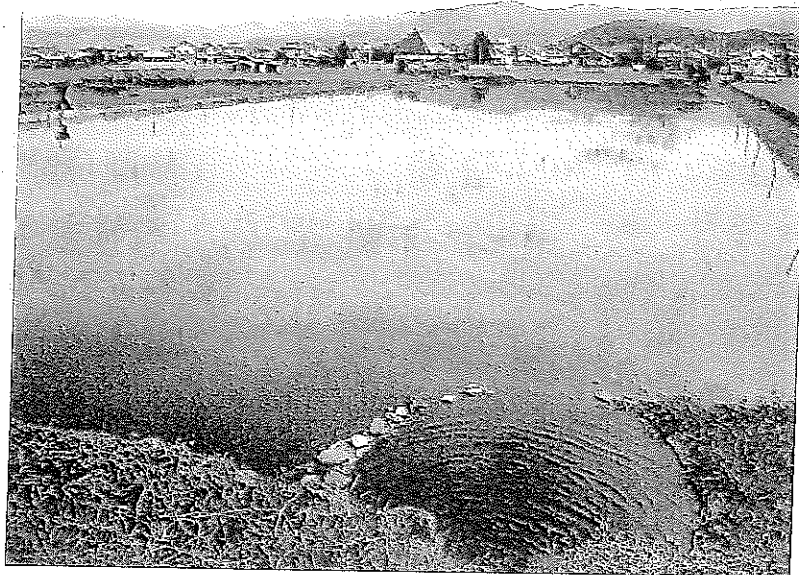
一部転作(額縁)水田方式



- 畦に沿って、稲を植えない
⇒ 餌場やフナの様子を観察に利用する
- 生産量 約100 kg/10a

水田の種類②

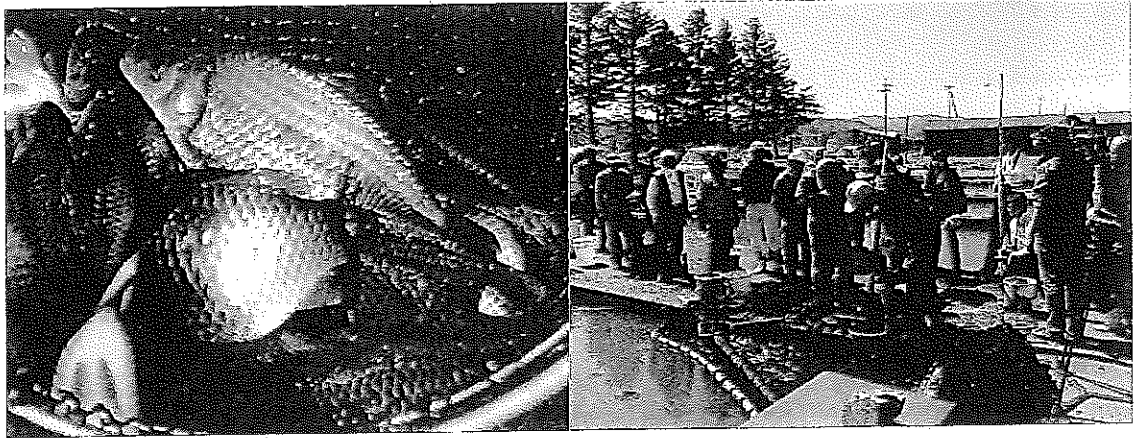
休耕田方式



- 稲を植えない、池に近い方式
- 生産量 約200 kg/10a

親魚の確保

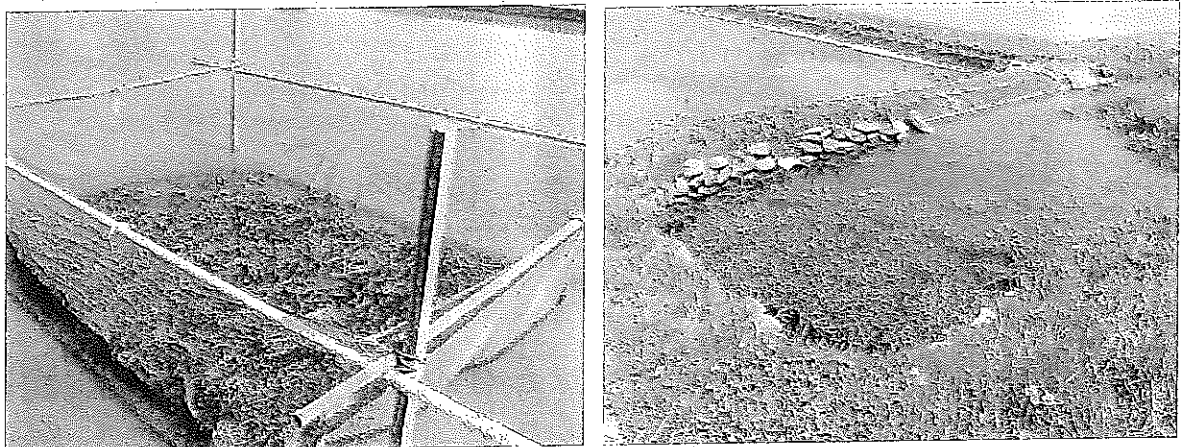
親魚の確保



- ・越冬させた親魚 + 水産試験場から購入

産卵の準備

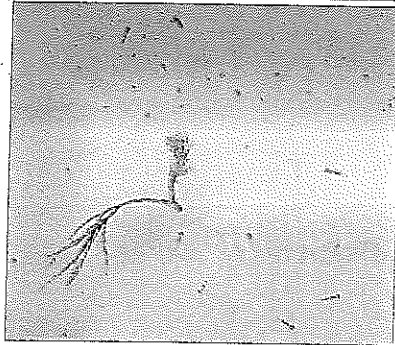
産卵の準備



- ・水田の注水口付近に生簀や産卵池(深み)を作る
- ・産卵用の水草(バイカモ)やヒノキ葉を投入

産卵・ふ化

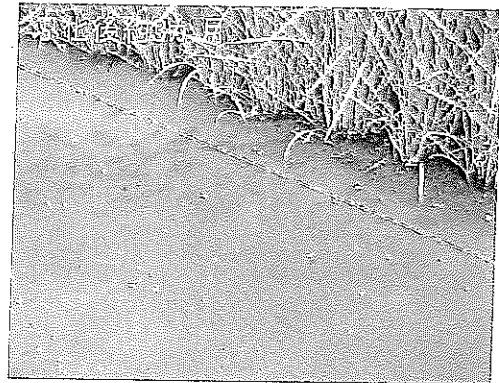
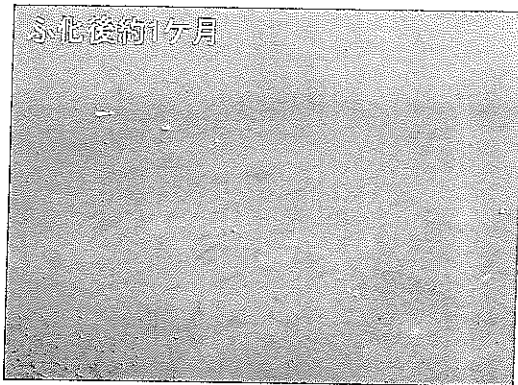
産卵～ふ化



- 親魚を放流すると、翌日～翌々日に産卵(水温20℃以上)
- 卵は4～6日でふ化する
- ふ化仔魚は2日程で泳ぎ出し、餌を食べるようになる

飼育管理

飼育管理



- ふ化後5日位から人工飼料を与える
- 酸欠事故対策を施す
(給餌を制限する、給水する等)

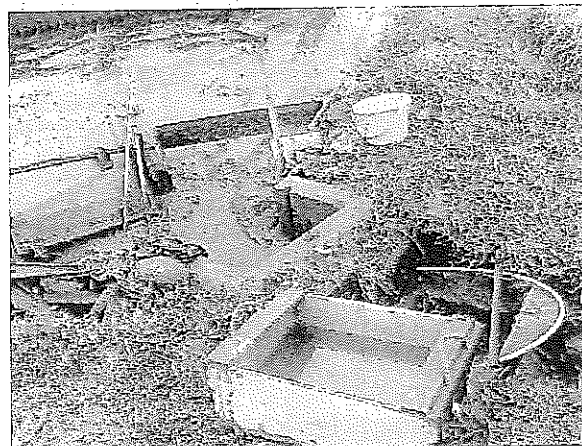
収穫

収穫方法

(注水口)



(排水口)



- 注水口付近に深場を作り、網を仕掛けて遡上したフナを捕獲する
⇒フナが痛みにくい
- 排水溝に網を仕掛け、排水しながら捕獲する

出荷

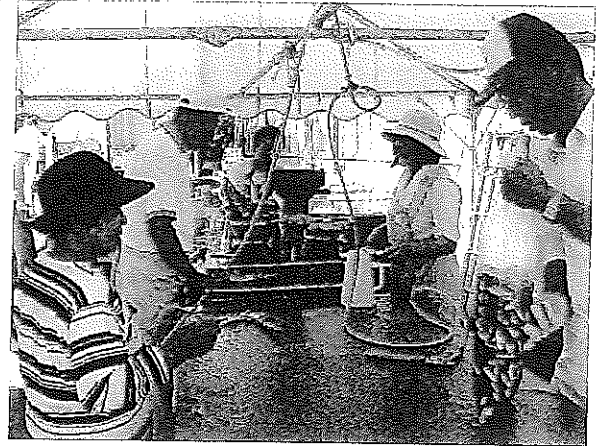
出荷



- 収穫されたフナは、農協や加工会社に出荷される
- 農協の買い取り価格は、約1,200～1,300円/kg

販売

小ブナの販売



- 農協や地元スーパーで生きたまま販売
- 商品サイズは4~7 cm(全長)
- 価格は約2,000円/kg

加工

付加価値販売(加工品)



- 甘露煮を真空パックや缶詰で土産品として販売

「佐久市地域遺産（仮称）」事業について

| 区分 | 案 | 課題等 | 参考（栃木県益子町） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|--|--|----|-----|---|---------------|---|-----------|---|--------------|---|----------------|---|----------|---|---------|---|---------|---|---------|---|---------|
| 1 名称 | 「佐久市地域遺産（仮称）」 | ・「世間遺産」使用の是非 ・公募の是非 | 「ましこ世間遺産」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 目的 | 文化財指定は難しいが、地域で大切に守られている、次世代へ引き継いでいきたい文化財を「佐久市地域遺産一覧表（仮称）」へ登録（認定）することで、地域の歴史に触れ、郷土愛を育む契機とするとともに、観光資源としての活用も図り、交流人口の増加を図ることを目的とする。 | | 身近な存在で生活に溶け込み、地域で愛され、将来にわたり守り伝えていきたい風土・風景・風習・食文化などを「ましこ世間遺産」として認定し、町内外にその魅力を発信し交流を図ることを目的とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 申請方法 | 区や保存会等の地域単位の団体による「申請書」の提出 | ・個人申請の是非 | 自治会、育成会、その他の団体単位で、申請用紙に記入し生涯学習課まで申請書を提出する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 対象 | ・有形文化財 ・無形文化財 ・民俗文化財 ・記念物 ・文化的景観 ・伝統的建造物群 | ・時代制約の是非 ・人物の可否 | 将来にわたり守り伝えていきたい風土・風景・食文化など（文化財については、今までスポットの当たらなかったものに注目するため、県指定文化財以上のものは対象外とする。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 認定基準 | 指定されていない文化財であり、地域で大切に守られ、継承され、次世代へ引き継いでいく熱意の感じられるもので、外部から見ることができること。 | ・公開の可否 ・個人所有の場合の取り扱い | ①将来にわたり守り伝えていきたいもの ②地域で愛され、継承されてきたもの ③地域住民に認知され、地域を象徴するもの 以上のいずれかに該当し、公開されているもの又は、外部から見ることができるものを基準とし、実行委員会が選定し認定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 認定後 | ・市公式ホームページによる周知 ・位置図のあるリーフレットによる周知 ・市広報紙「サクライフ」による周知 | ・活用等に対する義務の是非 ・維持管理に対する制約の是非 ・維持管理に対する補助金交付の是非 ・案内看板設置の是非 | ましこ世間遺産めぐりとして、町内外に向け情報を発信し周遊ルートとして活用を図る。 環境整備事業に1認定あたり1年度20,000円以内の補助金を交付する。（消耗品代、燃料代、食糧費に限る。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 その他 | 認定機関 | ・認定委員会構成委員 ・教育委員会 ・文化財保護審議会 | ましこ検定・世間遺産実行委員会委員名簿 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>所 属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>生涯学習推進協議会・商工会</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>益子町小中学校長会</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>益子焼関係団体振興協議会</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>観光ボランティアガイドましこ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>文化財保護審議会</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>認定農業者団体</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>益子町観光協会</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>女性団体連合会</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>土祭検討委員会</td> </tr> </tbody> </table> | No | 所 属 | 1 | 生涯学習推進協議会・商工会 | 2 | 益子町小中学校長会 | 3 | 益子焼関係団体振興協議会 | 4 | 観光ボランティアガイドましこ | 5 | 文化財保護審議会 | 6 | 認定農業者団体 | 7 | 益子町観光協会 | 8 | 女性団体連合会 | 9 | 土祭検討委員会 |
| No | 所 属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 生涯学習推進協議会・商工会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 益子町小中学校長会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 益子焼関係団体振興協議会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 観光ボランティアガイドましこ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 文化財保護審議会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 認定農業者団体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 益子町観光協会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 女性団体連合会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 土祭検討委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

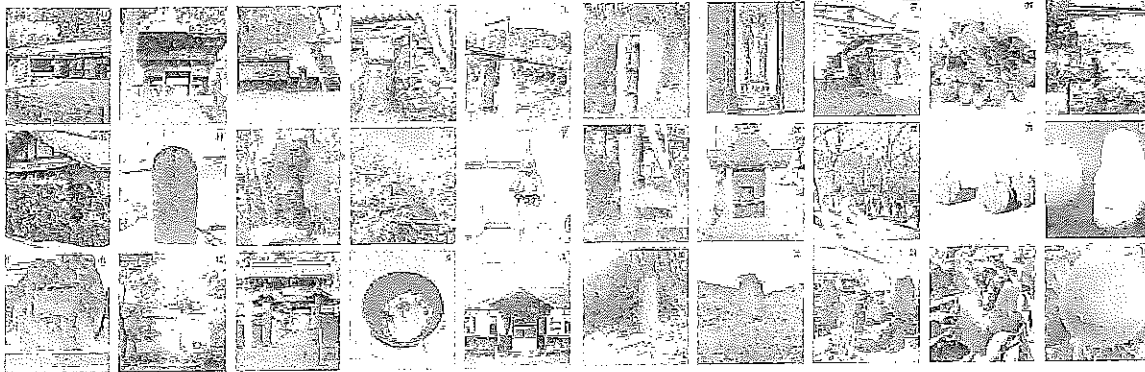
募集します「小諸ふるさと遺産」

令和元年

あなたの地域の
お宝も!

小諸ふるさと遺産

大募集!



あなたの地域のシンボル、みんなで守り伝えてきたもの、
そんな地域のお宝を「小諸ふるさと遺産」として次の世代に引き継ぎましょう!

地域で大事に守り伝えられてきたもの、地域のシンボルなどその歴史的、文化的価値にかかわらず、後世に残していきたいものを「小諸ふるさと遺産」として、小諸市教育委員会が認定することとなりました。

応募対象

建造物、自然景観、民芸品、特産物、歴史、文化、郷土料理、伝統行事など、小諸らしさを特徴を表しており、「小諸ふるさと遺産」として後世に伝え残していきたいもので、一般に公開ができるもの（常時公開ではなくても、一年間で特定の日のみの公開でも可能です）

ただし、すでに文化財として指定・登録されているものは対象外です。

募集及び審査・認定

第一期

募集

平成31年4月1日（月曜） から 令和元年6月28日（金曜） まで

審査・選定

令和元年7月

第二期

募集

令和元年7月1日（月曜） から 令和元年9月30日（金曜） まで

審査・選定

令和元年10月

応募方法

下記より、応募用紙、同意書をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、募集期間中に文化財・生涯学習課に提出をしてください。

審査・選定方法

市内の学識経験者などで構成されるに選定委員で審査を実施します。

認定

選定されたものについては、「小諸ふるさと遺産」として、小諸市教育委員会が認定するとともに、認定証が交付されます。また、広報こもろや小諸市ホームページで公表するほか、冊子「小諸ふるさと遺産登録集」を作成し、公共施設や観光案内所等で配布します。

様式

[小諸ふるさと遺産応募用紙 \(ワード: 17.7KB\)](#)

[小諸ふるさと遺産応募用紙 \(PDF: 120.3KB\)](#)

[小諸ふるさと遺産同意書 \(ワード: 12.4KB\)](#)

[小諸ふるさと遺産同意書 \(PDF: 82.1KB\)](#)

この事業は「令和元年度長野県地域発元気づくり支援金」を活用しています。

この記事に関するお問い合わせ先

教育委員会 文化財・生涯学習課

〒384-8501

長野県小諸市相生町3丁目3番3号

電話：0267-22-1700 ファックス：0267-23-8857

[お問い合わせはこちら](#)



PDFファイルを開覧するには「Adobe Reader (Acrobat Reader)」が必要です。お持ちでない方は、左記の「Adobe Reader (Acrobat Reader)」ダウンロードボタンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。

いいね! | シェア | ツイート

更新日：2019年05月22日

「小諸ふるさと遺産」を認定しました(平成30年度第1期)

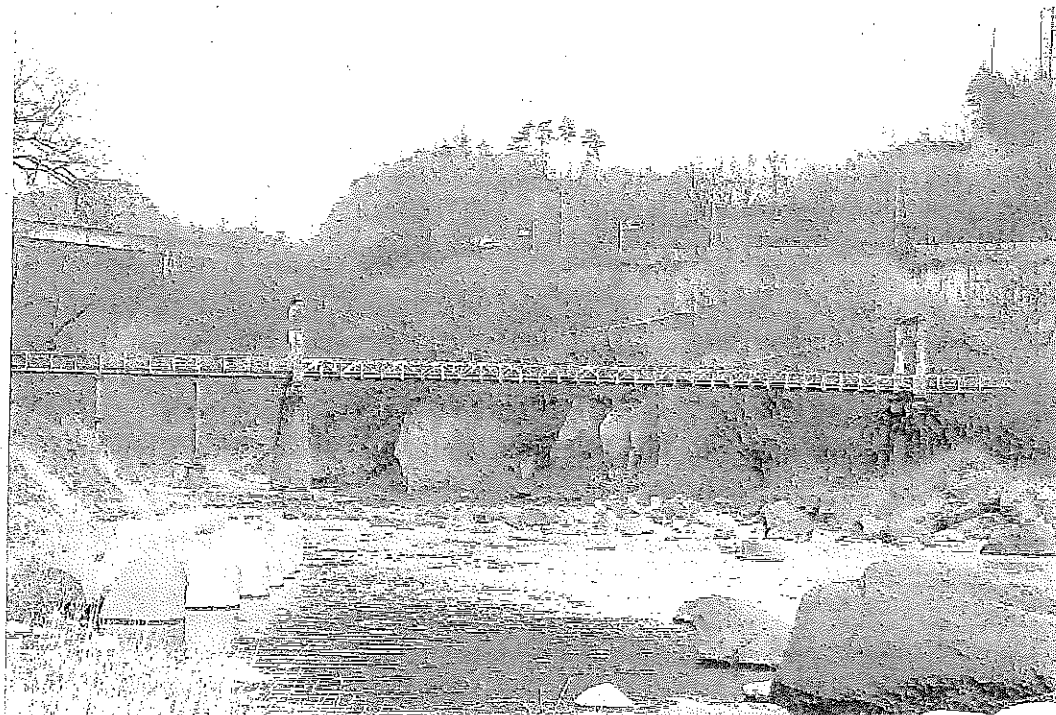
地域で大事に守り伝えられてきたもの、地域のシンボルなどその歴史的、文化的価値にかかわらず、後世に残していきたいものを「小諸ふるさと遺産」として、小諸市教育委員会が以下の通り認定いたしました。

認定された小諸ふるさと遺産の所有者には、小諸ふるさと遺産認定プレートを交付するほか、『小諸ふるさと遺産集』として冊子にまとめ、公共施設や観光案内所の窓口で配布します。

平成30年度第1期認定遺産

| 認定番号 | ふるさと遺産の名称 | 認定内容 | 地区 |
|---------|------------------|---|-----|
| No.1801 | 大抗橋 | 小諸市内で千曲川に架かる橋として現存する唯一の吊り橋。 隣接する現代的な小諸大橋と重なる眺望が千曲川の風情を感じさせる。 | 川辺 |
| No.1802 | 旧南大井小学校の二宮金次郎像 | 二宮金次郎像は1924年頃から全国の学校に設置され始め、金次郎が実践した勉学と勤労の両立を顕し、多く子供たちを見守り続けている。 現在も旧南大井小学校の跡地に引き継がれ、多くの人々を見守っている。 | 南大井 |
| No.1803 | 旧南大井村役場 | 昭和29年まで南大井村役場として使用され、その後も公民館として使用されるなど、南大井の行政・文化の中心として大きな役割を果たした。 | 南大井 |
| No.1804 | 氷風穴群 | 天然の冷蔵庫である風穴は、小諸では約300年前より使用されていた。 明治期には蚕種（蚕の卵）の保管にも使用され、年1回だった養蚕が、年6回実施できるようになった。 氷風穴は最盛期には14を数えたが、現在は5つが残っており、今なお使用されている風穴もある。 | 川辺 |
| No.1805 | 新町の三大桜名所 | 新町の花川親水公園、押出しの桜並木、手代塚城址の三大桜名所は、地域住民が協力して管理を実施しており、散歩コースや、どんと焼きなど地域住民のコミュニティ活動の重要な場所となっている。 | 西部 |
| No.1806 | お煮かけ | お煮かけは、島崎藤村の千曲川のスケッチにも登場し、季節の野菜や油揚げ・きのこなどを入れた具だくさんの汁とともに食べる、東信地方の伝統的な麺文化である。 小諸市内には、うどんだけでなく、蕎麦や冷麦なども使い、麺を「どうじかご」に入れ、具を少し揃いながら、麺を温めて食べる地域もある。 | 西部 |
| No.1807 | 富士見城跡 | 築城年代は不明ですが、徳川家康の第一次上田合戦の際に、現在の形に陣地として整えられたと伝えられている。 富士山が見えることから富士見城と名づけられた。 現在は公園として整備され、市民の憩いの場となっている。 | 大里 |
| No.1808 | 金平山の慰霊堂・平和の礎・忠魂碑 | 旧大里村の人々が日露戦争や第2次世界大戦の戦没者を慰霊するために建立した。 これらが一方所にまとまっているのは珍しく、慰霊堂の前では戦争のない平和な社会の実現を記念し、毎年11月3日に慰霊祭が行われている。 | 大里 |
| No.1809 | 光岳寺の足柄門（総門） | 明治5年に小諸城から現在の場所に移築された。 小諸城時代には藩士が出仕する際の通用門として使用されていた。 門のつくりは両側の柱の上に屋根が乗っている高麗門形式。 | 東部 |
| No.1810 | 光岳寺の棧門（山門） | 1716年に建築された小諸藩内の寺院では一つしかない2階建ての門（棧門）。 2階には釈迦三尊像や十六羅漢像が安置されている。 | 東部 |
| No.1811 | 小諸町道路元標 | 大正時代に設置された、小諸町の道路の起終点を示す標識。 | 東部 |
| No.1812 | 小諸市立小山敬三美術館 | 建築家の村野藤吾の設計により、1974年に完成し、小諸市へ小山敬三画伯より寄贈された。 「木立の中に何げなくなっている美術館」がコンセプトで、近代建築物としての美しさが認められ、この建物で村野藤吾は毎日芸術賞を受賞している。 | 西部 |
| No.1813 | 小諸市立藤村記念館 | 1957年に小諸藤村会により建造され、小諸市に寄贈された。 東宮御所や国立劇場を手掛けた谷口吉郎が設計し、日本の伝統的な様式を近代に生かした建造物。 | 西部 |

| 認定 番号 | ふるさと遺産 の名称 | 認定内容 | 地区 |
|----------|---------------|---|-----|
| No.1814 | 虚子庵 | 近代俳句の巨匠、高濱虚子が小諸に疎開した1944年から4年間を過ごした庵。 虚子庵では地元の俳人と句会を開催し、多くの文化人をこの庵へ招いた虚子は「小諸時代」と言われる「小諸百句」、「小諸雑記」、「虹」の三部作を世に送り出した。 | 東南部 |
| No.1815 | 小諸学校跡の 碑 | 1901年に竣工した小諸尋常高等小学校があった場所に、1982年に設置された石碑で、裏面には明治からの各小・中学校の沿革が記録されている。 この学校から、小諸市の教育方針である「梅花教育」が生まれた。 | 中部 |



大杭橋



新町の三大桜名所 押出しの桜並木（旧布引鉄道軌道跡）

小諸市では引き続き、ふるさと遺産を募集しております。

応募等につきましては下記リンクをご覧ください。

[募集します「小諸ふるさと遺産」](#)

この記事に関するお問い合わせ先

教育委員会 文化財・生涯学習課

〒384-8501

長野県小諸市相生町3丁目3番3号

電話：0267-22-1700 ファックス：0267-23-8857

[お問い合わせはこちら](#)

更新日：2019年05月22日

[お問い合わせ](#) | [シェア](#) | [ツイート](#)

「小諸ふるさと遺産」を認定しました(平成30年度第2期)

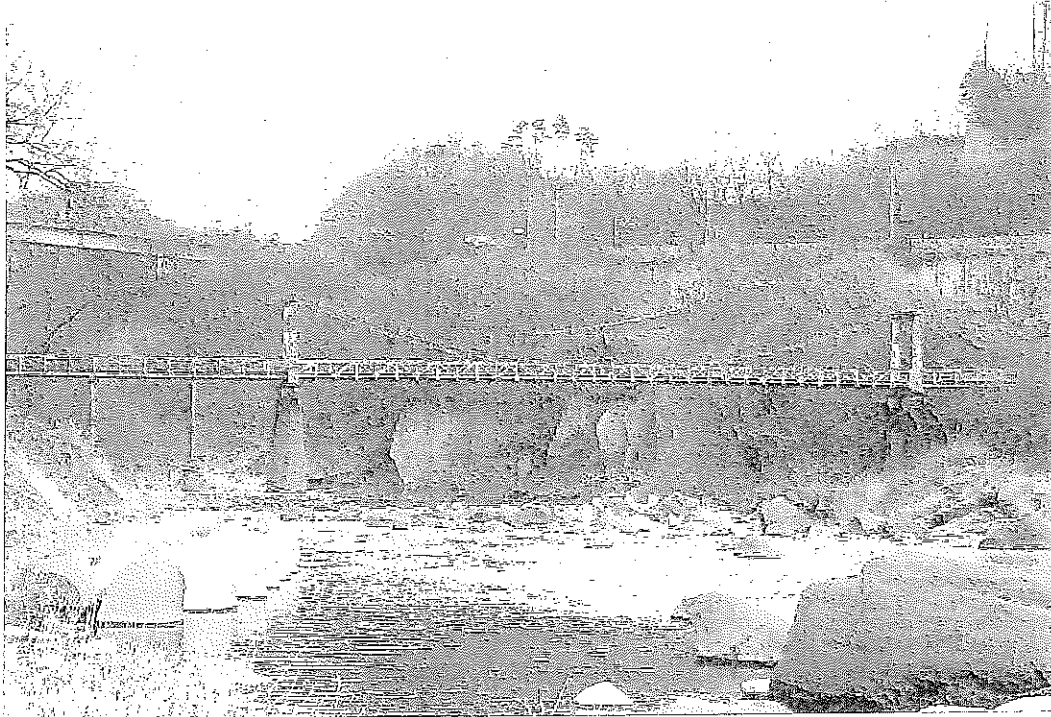
地域で大事に守り伝えられてきたもの、地域のシンボルなどその歴史的、文化的価値にかかわらず、後世に残していきたいものを「小諸ふるさと遺産」として、小諸市教育委員会が以下の通り認定いたしました。

認定された小諸ふるさと遺産の所有者には、小諸ふるさと遺産認定プレートを交付するほか、『小諸ふるさと遺産集』として冊子にまとめ、公共施設や観光案内所の窓口で配布します。

平成30年度第2期認定遺産

| 認定 番号 | ふるさと遺産 の名称 | 認定内容 | 地区 |
|----------|-------------------|---|-----|
| No.1816 | 大谷石造の2階建ての倉庫 | 1919年に設立された佐久重種株式会社で使用されていた大谷石造の倉庫です。蚕種（蚕の卵）を保存していました。 建設当時は100m程東側にありましたが、現在の場所に移築され住居として使用されていました。 | 東部 |
| No.1817 | まる原（まるはら）白いも | 御牧ヶ原台地特有の粘土質土壌で栽培された、白くて肌が滑らかで美しい優れた品質の馬鈴薯です。この馬鈴薯を一口で表現でき、かつ商品性を高めるために、「白いも」と命名されました。 1960年8月より、御牧ヶ原台地の馬鈴薯は、全て「まる原（まるはら）白いも」の銘柄で統一され、出荷されています。 | 川辺 |
| No.1818 | 三岡の桃（浅間水蜜桃） | 小諸市の桃栽培は小諸義塾の校長だった木村熊二が、三岡地区が桃の栽培に適していると推奨し、1896年頃から始まりました。 塩川伊一郎氏が台木を育成し、増やしていった苗を「浅間水蜜桃」と名づけました。東京に販路を求め、農村の生活を豊かにし、缶詰産業・ジャム作りにも発展しています。 | 三岡 |
| No.1819 | 御牧いちご | 「御牧いちご」は御牧ヶ原一帯で栽培されていたいちごで、その起源は室町時代からと言われています。この地域はいちご栽培に適した風土であり、戦前から戦後にかけて「御牧いちご」の生産が広まりました。現在、「御牧ヶ原1号」、「御牧ヶ原2号」といったいちご原種が、栽培保存されています。 | 川辺 |
| No.1820 | ひしの南蛮 | 「ひしの南蛮」は1943年頃、蓼野地区の住民が朝鮮半島から持ち帰った種をまいたことから栽培が始まったと言われています。 現在も交配を避けるため、専用の畑で種から栽培されています。 成熟する前に収穫するため、果肉が薄く柔らかく、種やヘタまで全部食べることができます。 | 大里 |
| No.1821 | そら南蛮 | 名前の由来は、空に向かって実を付けることから「そら南蛮」。 来歴は不明ですが、明治時代にはすでに耳取地区で栽培されていたと言われています。南蛮なのに辛みはなく、果肉は薄く、甘くてみずみずしいため、種が付いたまま食べることができます。 細長く成長するので、地元では別名「甘長南蛮」とも呼ばれています。 | 三岡 |
| No.1822 | 湯治と交流の場 [蓼野温泉] | くは蓼野鉱泉と言われ、起源は中世より古く、江戸時代から湯治場として利用されていました。 薬師堂参拝と湯治に東信地域のから多くの人々が訪れ、年齢、男女、職の違いを超えて、交流の場として大いに発展しました。 近世に入ると、野口雨情や白田亜流、丸山晩霞、中山晋平などが宿泊し、蓼野小唄がつくられるなど、小諸の近世文化の一翼を担う温泉地です。 | 大里 |
| No.1823 | 八十八夜と高津屋神社 | 高津屋神社は、1872年に浅間山の火山活動を鎮撫するため、中世高津屋城跡に、浅間神社を安置したことから始まります。 現在では、例大祭が行われるほか、八十八夜に地域の子どもたちが造った御神燈を奉納し、五穀豊穡を祈っています。 | 中部 |
| No.1824 | 六供無縁堂（成の満水） | 成の満水は、寛1742年8月に千曲川・犀川流域に起こった大水害で、小諸では旧暦8月1日に、六供、本町、田町、袋町、さらには小諸城三之門なども流失する大災害となりました。小諸城下では、507名の死者を出しました。 六供無縁堂は、死者の御霊を供養するとともに、災害復興を記念して1754年8月1日にこの地に建立されました。 | 中部 |
| No.1825 | 柏木の阿弥陀堂と阿弥陀如来像 | 阿弥陀堂は1736年後頃、一庵が建立され、1846年（弘化3年）に再建されたと伝わっています。 1872年には柏木阿弥陀堂第八十八番小学校止善学校としても使用されました。 阿弥陀如来像は行基の作と伝えられ、脇侍に普導大師、圓光大師を祀っています。永く会津城主屋名家の守り本尊として祀られてきました。故あって、越後高田藩、与板藩、小諸藩主の牧野家菩提寺泰安寺に移ったが、1846年に柏木村へ下賜されたとされています。 | 北大井 |
| No.1826 | 蚕影様 | 蚕影様は主に群馬県・長野県・山梨県で信仰される蚕をつかさどる神です。 柏木阿弥陀堂境内に蚕影神社があり、1924年に蚕影様を祀る塔を再建した記録が残っています。 柏木の蚕影様の発祥時期は不明ですが、現在でも毎年5月3日に米粉で作った團子を配り、五穀豊穡を祈っています。 | 北大井 |
| No.1827 | ねんぼう岩 | 高峯山と黒斑山ができた約10万年前と同時期に形成された地形が、約2万4千年前の上田泥流により浸食され、現在の形になったといわれています。 頂上には、武蔵坊弁慶の金の茶釜が置かれているとの伝説が残っています。 | 西小諸 |
| No.1828 | 小諸発電所旧第一調整池跡 | 小諸発電所の調整池として1927年に完成したバットレスダムです。 バットレスダムとは水圧を受ける止水壁を鉄筋コンクリートの扶壁（バットレス）で支える方式のダムのことです。 この方式のダムは日本では8基だけ建造され、6基が現在も残っています。 | 東南部 |

| 認定番号 | ふるさと遺産の名称 | 認定内容 | 地区 |
|---------|-----------------|---|----|
| No.1829 | 浅間登山元標 | 1920年（大正9年）に、浅間山登山の出発地点として設置された元標です。ここから、浅間山山頂まで、3丁（約327m）ごとに、道標が設置されました。 設置当時の登山道は元標から山頂まで、3里29丁（約14.9キロメートル）と伝えられています。 | 東部 |
| No.1830 | 旧布引電気鉄道 布引橋脚 | 1919年に計画され、1926年に小諸、島川原間の運行を開始した布引電気鉄道の橋脚。 1934年の運行停止まで使用されていました。 千曲川を横断するため、4本の橋脚が立っており、その上を単線の線路が通っていました。 12トンを超える2種類の電車が、1日に18往復していました。 | 西部 |



大杭橋



新町の三大桜名所 押出しの桜並木（旧布引鉄道軌道跡）

小諸市では引き続き、ふるさと遺産を募集しております。

応募等につきましては下記リンクをご覧ください。

[募集します「小諸ふるさと遺産」](#)

この記事に関するお問い合わせ先

平成 30 年度 小諸ふるさと遺産集



小諸の地で大事に守り伝えられてきたものや、地域のシンボル、後世に伝え残していきたいものが「ふるさと遺産」です。

所有者・継承者や地域の人々が、これまで以上にそれらを誇りに思い、大切に未来につなげてくださることを願って、「ふるさと遺産認定事業」を実施しました。

地域に埋もれてしまうかもしれない大切な遺産に、今後より多くの光が当てられ、さらなる「ふるさと遺産」が生まれることを願って認定集を作成いたしました。

ふるさと遺産を今日まで、守り、伝えていただいている皆様に心から感謝いたします。

平成 31 年 3 月 20 日

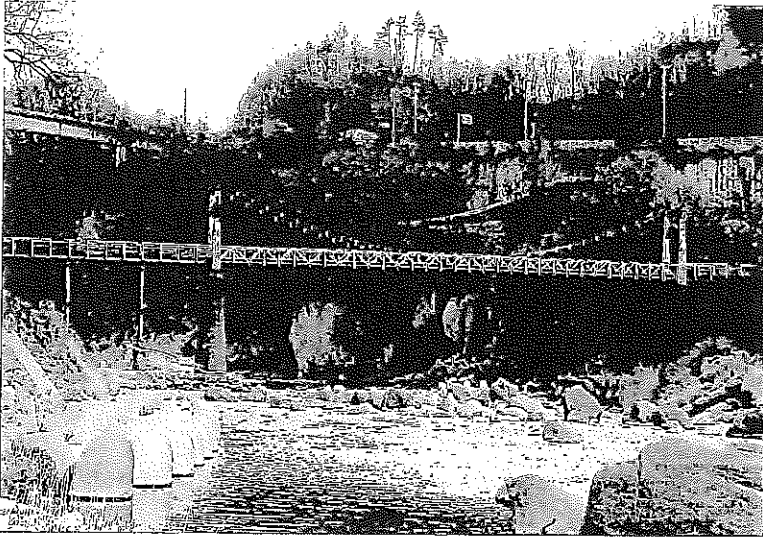
小諸市教育委員会

小諸ふるさと遺産

No.1801

おお くい ぼし
大 杭 橋

所在地：小諸市小原区、大杭区境の千曲川上

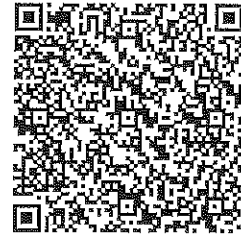


小諸市内で千曲川にかかる橋として、現存する唯一の吊り橋です。

1919（大正8）年3月に竣工したこの吊り橋は、1981（昭和56）年に大規模改修が行われました。

竣工当時、川辺地区に電気を供給する機能も担っていました。

隣にある現代的な小諸大橋と重なる眺望風景が千曲川の風情を感じさせます。



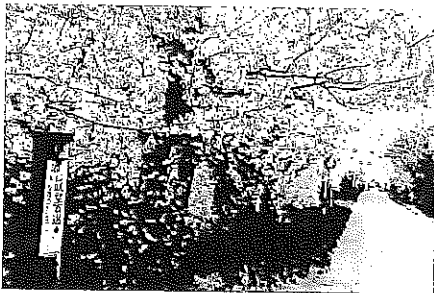
地図情報へのアクセス

小諸ふるさと遺産

No.1805

しんまち さんだいさくらめいしよ
新町の三大桜名所

所在地：小諸市新町区



押出の桜並木



手代塚城址

新町の三大桜名所は、散歩コースや花見、どんど焼きなど、地域住民のコミュニティ活動の重要な場所となっています。

新町を象徴するこの景観を後世に残そうと、地域住民が協力して管理をしています。



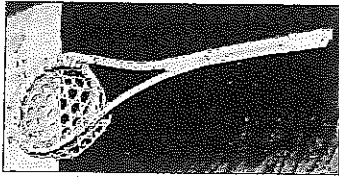
花川親水公園

小諸ふるさと遺産

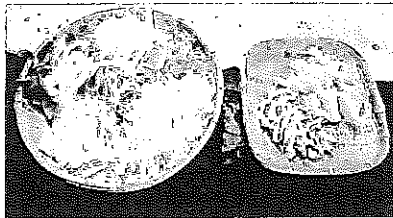
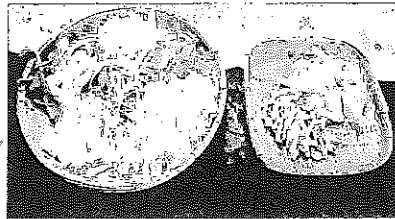
No.1806

に お煮かけ

所在地：小諸市全域

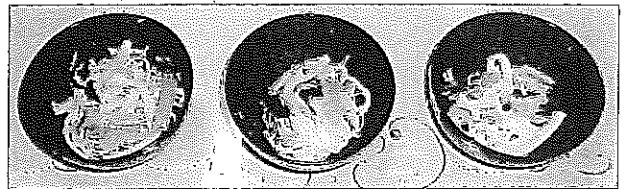


とうじかご



お煮かけは、島崎藤村の『千曲川のスケッチ』に「手製のうどんに野菜を入れ煮たもの」として登場し、季節の野菜や油揚げ・きのこなどを入れた具たくさんの汁とともに食べる、東信地方の伝統的な麺文化の一つです。

小諸市内には、うどんだけでなく、蕎麦や冷や麦などを使い、麺を「とうじかご」に入れ、具を少しすくいながら、麺を温めて食べる地域もあります。



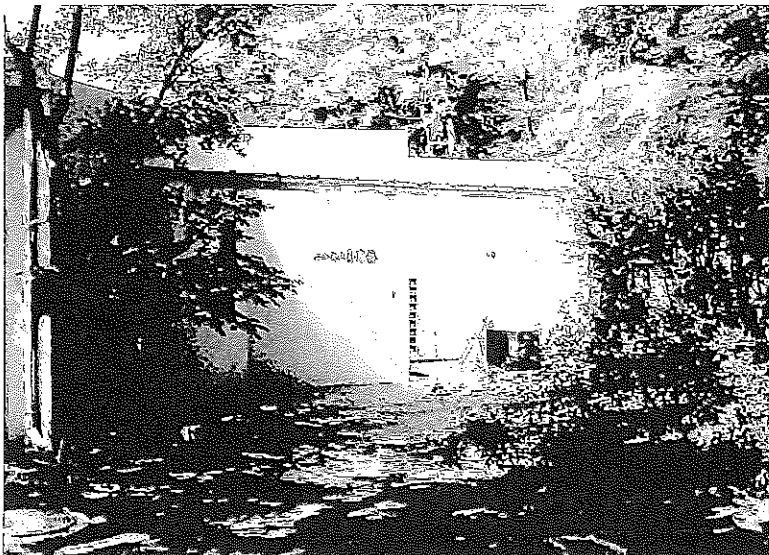
小諸ふるさと遺産

No.1812

こもろしりつこやまけいぞうびじゅつかん

小諸市立小山敬三美術館

所在地：小諸市丁 221



建築家の村野藤吾の設計により、1974（昭和49）年に完成し、小山敬三画伯より寄贈されました。

設計コンセプトは「木立の中に何げなく建っているという美術館」です。

近代建築物としての美しさが認められ、村野藤吾はこの建物で毎日芸術賞を受賞しています。



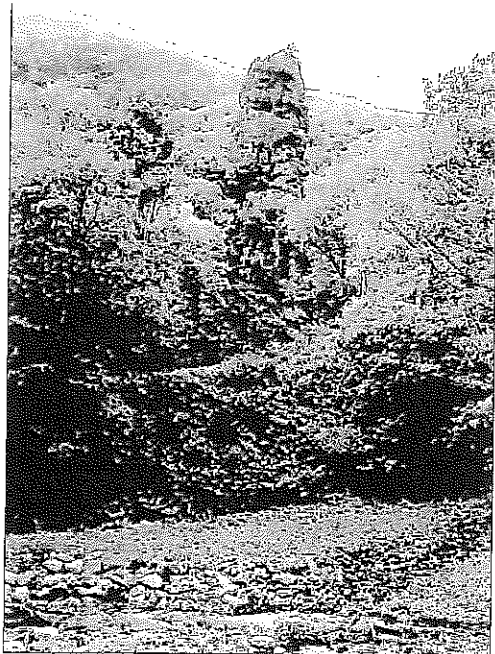
地図情報へのアクセス

小諸ふるさと遺産

No.1827

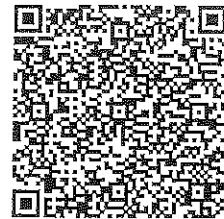
ねんぼう^{いわ}岩

所在地：小諸市浅間林道より（眺望）



高峯山と黒斑山ができた約10万年前と同時期に形成された地形が、約2万4千年前の上田泥流によって浸食され、現在の形になったと言われています。

頂上には、武蔵坊弁慶の金の茶釜が置かれているとの伝説が残っています。



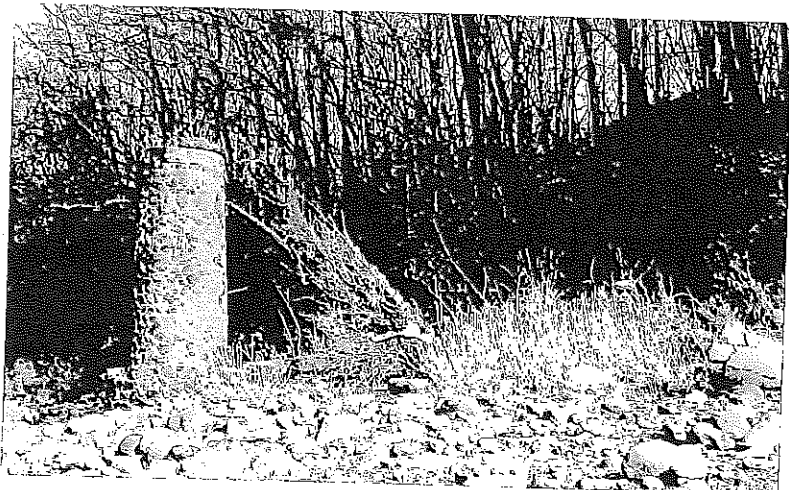
地図情報へのアクセス

小諸ふるさと遺産

No.1830

きゆうぬのびきでんきてつどうぬのびききょうきやく 旧布引電気鉄道布引橋脚

所在地：小諸市押出地区（千曲川河川敷）



1919（大正8）年に計画され、1926（昭和元）年に小諸、島川原間の運行を開始した布引電気鉄道の橋脚です。

1934（昭和9）年の運行停止まで使用されていました。

千曲川を横断するため、4本の橋脚が立っており、その上を単線の線路が通っていました。

12トンを超える2種類の電車が、1日に18往復していました。



地図情報へのアクセス